

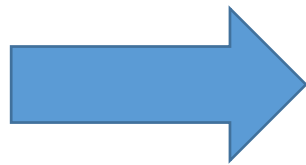
# 選択する未来 人口減少社会と価値の 創造

2014年4月21日(月)

白波瀬佐和子 (東京大学)

# 量（人口減少）と質（社会諸制度）の関係

- 人口減少社会はほぼ確実にやってくる未来
- 避けることのできない高齢社会の到来



発展可能な人口規模の維持（量的側面）

子どもを産み育てる環境整備（質的側面）

少子化のメカニズム (1) 生涯に産む子ども数の減少  
(2) 出産タイミングの遅れ

質的な問題が量的な結果（人口減少）をもたらす。  
質的側面の問題解決が、量的な変化を導く。

# 質的な問題解決とは、制度改革

例) 少子化の背景にある質的問題の解決策

## (1) 未婚化・晩婚化にある若年対策

- \* 複線型キャリア形成の支援
- \* 再チャレンジの機会提供
- \* 次世代を担う人材育成のための積極的投資

## (2) 子どものいる世帯といない世帯の再分配

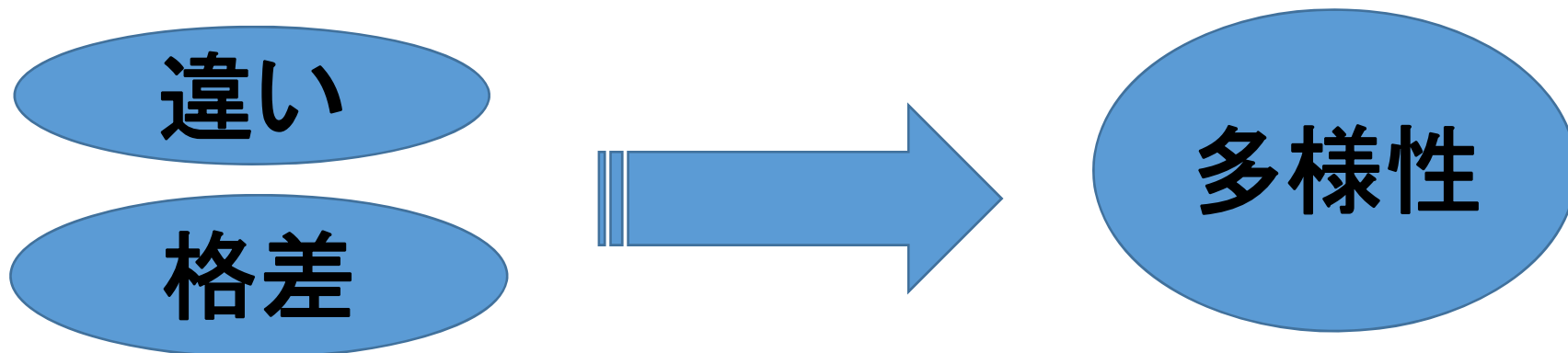
- \* 子育てコストの分かち合い
- \* 働き方の改善(ワーク・ライフ・バランス)

## (3) 子どもの福祉

- \* 教育機会の確保
- \* 子どもに優しい社会の構築

# 質的問題解決の背景には諸制度を支える価値・規範の問題が潜む

- 多様な価値の承認
  - 「違う」ことは変化の契機となり変化を促す.
  - 少子化、高齢化という量に潜む「違い」
    - 若者の間の違い
    - 子どものいる家族間の違い: 一人親と二人親
    - 男女の違いと男性・女性内の違い
    - 高齢者内の違い



# 多様な価値の創造には「伝統と新機軸」が鍵

- これまでの蓄積・強みを軽視せず、また所与とすることなく、社会の変化に潜む「違い」を積極的に盛り込むことが新たな価値を生む。
- 普遍的と限定的、選択と集中の投資スタイル：社会の底支え部分の基盤強化と選択性を積極的に盛り込んだ多層的な投資的福祉政策の展開
- 単なる「違い」を積極的な「多様性」へと転換することが、選択する未来にあるジャパンモデルの構築へとつながる。